

1. 名古屋市

貴自治体名 名古屋市

懇談日時 11月8日(木) 午後 2時00分～ 4時00分 (予定)

懇談会場 名古屋市役所東庁舎5階大会議室 ※会場が確定している場合はご記入ください。

2012年自治体キャラバン請願・陳情項目についてのアンケート

【1】1. 地域主権改革

- ① 県条例(政省令)を上回る基準の策定を予定しているものはありますか。
 ない ある →具体的には (乳児室の面積等)
- ② 県条例(政省令)を下回る基準の策定を予定しているものはありますか。
 ない ある →具体的には ()
- ③ 現行基準が政省令(県条例)を上回っている基準はどうしますか。
 現行どおりとする 政省令(県条例)に合わせる
 その他 →具体的には ()

【2】1. 介護保険及び高齢者福祉施策

- ① 保険料の市町村独自の減免措置がありますか。
 ない ある →実施年月(年 月) 2011年度実績()件()千円
- ② 利用料の市町村独自の減免措置がありますか。
 ない ある →実施年月(年 月) 2011年度実績()件()千円
- ③ 特別養護老人ホームの待機者は、何人ですか。 (6,228)人(23年4月現在申込者数)
- ④ 介護給付費準備基金について
 2010年度末の残高(4,282,053)千円
 2011年度末の残高(0)千円 ※決算前の場合見込み額を記入
- ⑤ 第5期計画への準備基金取り崩しについて
 1) 取り崩し総額は(0)千円
 2) 一人当たり金額は(0)円
- ⑥ 住宅改修の受領委任払い制度を実施していますか。
 実施している → 実施年月日(平成 18年 1月 1日) 2011年度実績(5,894)件
 検討中である 実施の予定がない
- ⑦ 福祉用具の受領委任払い制度を実施していますか。
 実施している → 実施年月日(年 月 日) 2011年度実績()件
 検討中である 実施の予定がない
- ⑧ 配食サービスについて、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

配食方式	実施の有無	(○)実施している ()していない ()検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	【生活援助型配食サービス事業】 1日1食、昼食又は夕食 【自立支援配食サービス】 週7日まで、1日1食を上限として昼食又は夕食
	1日平均利用者数(2011年度)	【生活援助型配食サービス事業】 総延べ食事数(1,799,706)食÷年間配食日数(365)日 =1日当たり平均(4,931)食 【自立支援配食サービス】 総延べ食事数(43,489)食÷年間配食日数(365)日 =1日当たり平均(119)食
	1食あたりの助成額	【生活援助型配食サービス事業】 180円(配食経費(200円)の9割) 【自立支援配食サービス】 配食経費の一部 ○身体障害者手帳・愛護手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方:180円 ○生活保護受給者・中国残留邦人等支援給付受給対象者:200円 ○上記以外:90円

	1食あたりの利用者負担額	【生活援助型配食サービス事業】 20円(配食経費(200円)の1割) 【自立支援配食サービス】 配食経費の一部+食事代(実費) ○身体障害者手帳・愛護手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方:20円+食事代 ○生活保護受給者・中国残留邦人等支援給付受給対象者:食事代 ○上記以外:110円+食事代
会食方式	実施の有無	()実施している (○)していない ()検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	
	月平均利用者数(2011年度)	
	1食あたりの助成額	
	1食あたりの利用者負担額	

⑨ 独居・高齢者世帯へのゴミ出し援助について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

実施の有無	(○)実施している ()していない ()検討中である
対象事業の名称	なごやか収集
対象者の要件	要介護認定を受けていて、65歳以上の一人暮らしをしている方等
1カ月平均利用者実数(2011年度)	3,458人(平成24年3月末)

⑩ 住宅改修の独自の助成制度について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

助成制度の有無	()助成制度がある (○)助成制度はない ()検討中である		
制度内容	()介護保険に上乗せして実施している		
	上乗せの助成額		
	利用者実数(2011年度)		
	()介護保険利用者以外の助成制度がある		
	対象者と、その要件		
助成額		利用者実数(2011年度)	

⑪ ひとり暮らし、高齢ふたり世帯などへの安否確認、見守り、買い物などの生活支援の施策を実施していますか。ある場合は、支援内容をご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・各区に配置した高齢者福祉相談員による訪問活動 ・福祉電話貸与事業(福祉電話を貸与し、定期的に電話による相談や安否確認を行う) ・配食サービス事業(配食時に安否確認を行う) ・生活援助軽サービス事業(臨時的・一時的な日常生活上の援助を行う)

⑫ 高齢者や障がい者への、外出支援のための施策についてお尋ねします。

1) 巡回バス・福祉バスなどを実施していますか。
(○)実施している
→ 利用料:高齢者< 歳以上>()円、障がい者(※別紙のとおり)円、一般()円 その他の外出支援策(敬老パスの交付)
()実施していない
2) タクシー代を助成する制度がありますか。ある場合は、助成内容をご記入ください。
・ない(高齢者)
・ある(障がい者)※内容は別紙のとおり

⑬ 宅老所・街角サロンなど的高齢者のたまり場事業に助成金を出していますか。(社会福祉協議会の助成は含めないでください)

()助成している → 1施設当たり助成額 月額()円 または 年額()円 または 1回限り()円 → 助成カ所数()カ所
()検討中である
(○)助成の予定がない

⑭ 介護認定者の障がい者控除の認定について

1) 認定書の発行枚数(2011年度実績)は (1,456)枚

2)介護認定者に障がい者控除の申請書または認定書を送付していますか。

()申請書を送付している → 2011年度()件

()認定書を送付している → 2011年度()件

(○)送付していない。

3)認定書の発行の条件

()介護認定者のうち、要支援2以上は基本的に発行している

()介護認定者のうち、要介護1以上は基本的に発行している

()医師の証明書(意見書)の提出の上、判断している

()介護認定時の認定調査票または主治医の意見書で判断している

(○)次のような方法で判断している(介護認定時の認定調査票又は状況確認票で判断している)

⑮要支援の介護認定者への、障害福祉サービスの上乗せについて

()実施している (○)実施していない

2. 高齢者医療など

①高額医療・高額介護合算療養費の支給について、該当者に個別に通知等していますか。

1)後期高齢者の場合

()自動払いしている ()申請書を送付している

(○)ハガキ通知をしている ()通知していない

2)国民健康保険の場合

()自動払いしている ()申請書を送付している

(○)ハガキ通知をしている ()通知していない

②後期高齢者福祉医療費給付(福祉給付金)制度について、愛知県が補助基準から外した「ひとり暮らしの非課税者」を引き続き対象にしていますか。

()対象にしている ()縮小して対象にしている (○)県基準どおりにした

③上記②以外に愛知県の補助基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。

70～74歳及び75歳以上の市民税課税世帯のねたきり及び認知証の方を対象としている。

④2012年8月1日現在の対象者 ※平成24年7月末現在

後期高齢者医療受給者 (235,960)人

後期高齢者福祉医療費給付(福祉給付金)制度対象者 (47,978)人

内〔ひとり暮らし非課税者(-)人

〕その他の県基準を上回る市町村独自対象者(8,633)人

3. 子育て支援策 ※2012年9月1日現在をご記入ください。

①子どもの医療費助成制度を、愛知県の基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。(対象年齢、対象者、入院・入院外の区分、現物給付・償還払の区分、所得制限など)

通院について中学生まで拡大(所得制限なし・一部負担金なし・現物給付)

②就学援助

1)保護者への広報はどのようにしていますか。

()入学説明会 (○)入学式 (○)始業式 (○)ホームページ (○)市広報

(○)その他(入学説明会は各学校で開かれており、必要に応じて就学援助についても説明。児童扶養手当受給者に対してお知らせを配布。転入学者等に対しては随時案内。)

2)就学援助の認定対象基準をご記入ください。

生活保護基準額の(1.0)倍

そのほか

- 3) 就学援助の対象となる認定基準額または所得基準額(年額)をご記入ください。
 ・2人家族(母30歳代、子ども小学生の場合) … (2,458,000)円
 ・4人家族(父母は30歳代、子ども小学生と4歳児の場合) … (3,126,000)円
 4) 申請書の受付先 ()市町村窓口 ()学校 ()市町村窓口と学校のどちらも可
 5) 民生委員の証明は必要ですか ()必要である ()必要ない
 6) 就学援助受給者数・予算額をご記入ください。

	2011年度	2012年度	11年度の受給者数は3月31日現在の人数です。 12年度の支給額は予算額、受給者数は予算人数です。 ※受給割合は、小数点第1位までご記入ください。 ※2012年度の支給額は見込み額をご記入ください。
受給者数	25,601人	27,316人	
受給割合	15.3%	16.3%	
支給額	1,596,373千円	1,751,885千円	

- 7) 就学援助家庭の給食費の支払い方法 ()現物支給 ()償還払い ()その他
 ※小学校 ※中学校
 8) 就学援助の項目について
 ()学用品費 ()体育実技用具費 ()入学準備金 ()通学用品費 ()通学費
 ()修学旅行費 ()クラブ活動費 ()生徒会費 ()PTA会費 ()給食費
 ()校外活動費(宿泊を伴わないもの) ()校外活動費(宿泊を伴うもの) ()医療費
 ()日本スポーツ振興センター掛け金 ()めがね・コンタクトレンズ ()卒業記念品
 ()その他()

③学校給食について(2012年度)

1) 給食の実施状況

	全校数	自校方式実施数		センター方式実施数		1食当たりの給食費
		直営	委託	直営	委託	
小学校	263校	263校	0校	0校	0校	226円
中学校	110校	0校	3校	0校	0校	280円

2) 給食費への自治体独自の補助などの施策(例:半額補助、第2子以降無料など)

なし

④放射線被ばくから子どもを守る施策について

1) 学校給食の食材の安全、健康検査など子どもを被ばくから守る自治体独自の施策

給食食材のうち、国が定める17都県の農畜水産物について、健康福祉局が実施している収去検査の中で、月6検体程度放射性物質の検査を実施している。また、それ以外の農畜水産物について、食材を調達している(財)名古屋市教育スポーツ協会において月1検体程度検査を実施している。

2) 食材用放射線測定器を自治体で所有していますか。また購入予定はありますか。

()すでに購入している ()購入の予定 ()購入の予定はない

3) 自治体独自で食材の放射線量測定の出検限界値(基準値)などの設定をしていますか。

()設定している ()設定していない

⑤女性、特に妊産婦や高齢者などに配慮した避難所づくりは怎么样了か。

災害発生直後の避難所における着替えや授乳等を行うスペースを確保するため、平成24年度より間仕切りセットを購入し、小中学校などの避難所指定施設に備蓄することといたしました。

4. 国民健康保険

①国保保険料(税)(医療給付費分と後期高齢者支援金分の合計)について

	区分	定義	2010年度	2011年度	2012年度
保険料・税率	所得割	(市県民税)額	× (156)%	× (152)%	× (157)%
	資産割	固定資産税額	× ()%	× ()%	× ()%
	均等割	加入者1人につき	49,948円	50,937円	50,877円
	平等割	1世帯につき	円	円	円
1人当たり調定額(平均保険料)			89,040円	90,058円	円
一般会計からの1人当たり法定外繰入額			14,776円	11,869円	15,267円

※2012年度の「一般会計からの1人当たり法定外繰入額」は、予算額をご記入ください。

②保険料(税)の市町村独自の軽減・減免制度

1)市町村独自の低所得者減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

- ・世帯の全員が市県民税の所得割を課されない世帯
- ・市県民税額の合計が5,000円以下の世帯

2)保険料(税)の収入減を理由にした減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

①、②をともに満たす世帯

- ①前年中の所得が1,000万円以下
- ②今年の見込所得が264万円以下かつ前年中の所得の10分の8以下

③資格証明書 ※2012年8月1日現在でご記入ください。

1)資格証明書は交付していますか。 () 交付していない (○) 交付している→(4,129)世帯

2)資格証明書を交付している場合、交付に当たっては、面接を実施していますか。

() 必ず面談している (○) 面談がなくても交付する場合がある () その他

3)資格証明書交付世帯のうち、高校生世代以下の子どものいる世帯数・子ども数

世帯数(339)世帯 内、乳幼児(176)人、小学生(203)人、中学生(128)人、高校生世代(91)人

上記のうち、6か月以上の短期保険証を交付していない資格証明書未解消世帯数・子ども数

世帯数(34)世帯 内、乳幼児(11)人、小学生(8)人、中学生(16)人、高校生世代(8)人

4)資格証明書の交付除外で配慮している点がありますか。

(○)国の基準どおり実施している

() 独自に配慮し、次の場合は交付対象から除外している

() 高校生世代以下の子どものいる世帯

() 障がい者・母子家庭等医療費助成制度の対象世帯

() 病弱者のいる世帯

() 次の場合は、交付対象から除外している。

④短期保険証 ※2012年8月1日現在でご記入ください。

1)有効期間別(交付時から有効期限が切れるまで)の交付数

※資格証明書交付世帯の高校生世代以下の短期保険証は除く

・1か月以内(-)人 ・2か月(-)人 ・3か月(-)人 ・4か月(-)人 ・5か月(-)人 ・6か月(-)人
・1年(-)人 ・その他(発行期間別の統計はとっていない。総発行世帯数15,870世帯)

2)短期保険証発行の基準をご記入ください。

督促状の指定期限が経過した滞納保険料のある世帯

3)短期保険証について、有効期限以外に特別な表示をしていますか。

(○)通常の保険証と同じ

() 通常の保険証と区分している →表記している文字・マークなど()

⑤保険料(税)滞納者への差押えについて(2011年度)

1)予告通知書の発行(3,265)件

2)差押え件数 不動産(0)件 預貯金(2,083)件 生命保険(154)件(内学資保険(不明)件)
その他(199)件(給与、年金など)

3)競売などによる現金化 (2,262)件 (186,845,557)円

⑥国保加入者だが、保険証・短期保険証・資格証明書が届いていない人数をご記入ください。

※2012年8月1日現在でご記入ください。

1)交付した保険証・短期保険証の留め置き人数 (不明)

2)保険証・短期保険証・資格証明書のいずれも交付していない未交付人数 (4,397)世帯

3)その他

--

- ⑦国民健康保険法第44条の一部負担減免制度について
- 1) 一部負担減免制度を実施していますか。
 実施している 検討中である 実施の予定がない
- 2) ある場合、生活保護基準を目安にした減免基準を設けていますか。
 設けている 検討中である 設けていない
- 3) 2011年度の減免件数 (36) 件 減免金額 (10,161,595) 円
- ⑧国保運営協議会について
- 1) 運営協議会の公開 公開していない 公開している
- 2) 運営協議会委員の公募枠 ない ある → () 人

5. 障がい者施策

- ①訪問系各サービスの支給状況について(8月時点)
 最多支給時間は8月の1カ月。平均時間は1カ月あたりでご記入ください。

	支給者数(人)	最多支給時間数(時間)	平均支給時間数(時間)
居宅介護	5,298	586	40.4
重度訪問介護	1,368	1,185.5	151
行動援護	352	360	101.8
同行援護	686	198.5	57.5

- ②地域生活支援事業の移動支援
 支給者数(5,514)人 最多支給時間数(286)時間 平均支給時間数(43.7)時間
- ③訪問系サービスの支給基準 あり なし

6. 健診事業 ※2012年度の実施状況をご記入ください。

- ①実施方式・各方式での自己負担金と毎年受診の可否

健診(検診)の種類		実施方式	個別方式		集団方式		
			自己負担	毎年受診	自己負担	毎年受診	
特定健診		個別・集団	なし	可・不可	なし	可・不可	
がん検診	胃がん	個別・集団	500円	可・不可	500円	可・不可	
	大腸がん	個別・集団	500円	可・不可	500円	可・不可	
	肺がん	個別・集団	500円	可・不可		可・不可	
	子宮がん	個別・集団	500円	可・不可		可・不可	
	乳がん	超音波	個別・集団		可・不可		可・不可
		マンモグラフィー	個別・集団	500円	可・不可	500円	可・不可
	前立腺がん	個別・集団	500円	可・不可		可・不可	
歯周疾患		個別・集団	無料	可・不可		可・不可	

- ②40歳未満の住民を対象にした一般健康診査について
 実施している → 健診内容 () 特定健診と同じ () 特定健診とは異なる
 実施していない
- ③歯周疾患検診の対象年齢・回数
 節目年齢に限定せず毎年受けられる 40・50・60・70歳の年に受けられる
 その他(年齢は4月1日現在の満年齢。80歳も対象。)

7. 任意予防接種の助成 ※助成を実施または予定している自治体のみご記入ください

ワクチンの種類	対 象	助成額 (1回)	自己負担 (1回)	助成開始または 開始予定年月
Hib	生後2か月～5歳未満	7,124円	0円	平成22年10月
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満	9,539円	0円	平成23年1月
成人用肺炎球菌	65歳以上	4,100円	4,000円	平成22年10月
HPV	中学1年生～高校1年生 相当年齢の女子	14,920円	0円	平成22年10月
みずぼうそう	1歳～年長児	3,949円	3,800円	平成22年8月
おたふくかぜ	1歳～年長児	3,006円	3,000円	平成22年8月
ロタウイルス	生後6～24週(ロタリックス) 生後6～32週(ロタテック)	6,499円 4,284円	6,400円 4,100円	平成24年10月
B型肝炎ウイルス		円	円	

8. 生活保護

①生活保護の申請件数とその保護件数について

2010年度相談件数 (36,978)件、申請件数 (11,593)件、そのうち保護開始件数 (11,386)件
2011年度相談件数 (32,391)件、申請件数 (10,066)件、そのうち保護開始件数 (9,768)件

②生活保護担当職員について

2010年4月1日現在 正規職員 (293)人 → 生保担当の平均在任年数 (4)年(4)カ月
非正規職員(152)人

2011年4月1日現在 正規職員 (315)人 → 生保担当の平均在任年数 (3)年(11)カ月
非正規職員(200)人

2012年4月1日現在 正規職員 (340)人 → 生保担当の平均在任年数 (3)年(9)カ月
非正規職員(192)人

③1職員当たりの担当受給者数

2010年4月1日現在(120)人 2011年4月1日現在(125)人 2012年4月1日現在(124)人

④生活保護窓口等への警察官OBの配置について

警察官OBの配置ありますか ()ある (○)ない

「ある」場合 配置している人数()人 ※今年度の人数をご記入ください

配置を開始した年月()年()月

その職員が担当している業務()

「ない」場合 今後の計画は()ない ()ある (○)検討中

計画が「ある」場合の配置予定時期と人数(平成 年 月)()人

【3】国または愛知県に対して既に意見書・要望書を提出している項目と提出年月日を教えてください。

※2011年9月以降の提出分をご記入ください。

	意見書・要望書の種類	提出年月日
国	①「最低保障年金制度」の創設を求める意見書・要望書	—
	②介護保険の改善を求める意見書・要望書	
	・平成25年度社会福祉関係予算に関する提案	平成24年7月19日
	・介護保険制度運営に関する要望書	平成24年7月27日
	③国民健康保険への国庫負担の増額などを求める意見書・要望書	
	・平成25年度国の施策及び予算に関する重点事項の提案	平成24年7月19日
	・平成25年度社会福祉関係予算に関する提案	平成24年7月19日
	・国民健康保険に関する要望書	平成24年7月
	④子どもの医療費無料制度の創設などを求める意見書・要望書	平成24年7月19日
	⑤障がい者施策に適切な補助などを求める意見書・要望書	平成24年7月25日
	⑥医師・看護師の確保などを求める意見書・要望書	
	・平成24年度名古屋市の行財政に対する県費補助及び県の施策等に関する要望	平成23年11月30日
	・平成25年度衛生行政の施策及び予算に関する要望書	平成24年6月27日
	・平成25年度国の施策及び予算に関する重点事項の提案	平成24年7月19日
	・要望書	平成24年7月19日
	⑦消費税率引き上げ・増税反対に関する意見書・要望書	—
⑧社会保障と税の一体改革関連法の中止を求める意見書・要望書	—	
県	①福祉医療制度存続・拡充に関する意見書・要望書	平成23年11月
	②福祉給付金のひとり暮らし非課税者に関する意見書・要望書	—
	③精神障がい者の医療費助成制度を求める意見書・要望書	平成23年11月

【4】次の資料(各1部)の添付をお願いします。

- ① 介護保険に関する条例・要綱(昨年と同じ場合は結構です) ⇒ 別添のとおり
- ② アンケート【2】1の⑬の「たまり場助成」の条例・要綱(昨年と同じ場合は結構です)
- ③ アンケート【2】1の⑭の「障がい者控除の申請」に関する広報の写し・案内文書 ⇒ 別添のとおり
- ④ 就学援助に関する父母向けの案内文書(昨年と同じ場合は結構です) ⇒ 別添のとおり
- ⑤ 国保保険料(税)減免事由別の適用件数・金額一覧(2011年度) ⇒ 別添のとおり
- ⑥ 国保一部負担金の減免に関する条例・要綱 (昨年と同じ場合は結構です)
- ⑦ アンケート【3】に関する国または県に提出した意見書・要望書の写し(2011年9月以降の提出分) ⇒ 別添のとおり

☆ご協力ありがとうございました